

年度 2009 学期 前期	曜日・校時 水2	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	人間の科学 (科学史) Human Sciences (History of Science)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類 人間科学科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 中村修 /Eメールアドレス: osamu.nakamura@nifty.ne.jp /研究室: 環境科学部3F /TEL:095-819-2727 /オフィスアワー: 火曜日 13-17時			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 科学は中立でも公平でもなく、権力に左右され、利害に振り回されて歪んで発達してきた、ということについて環境問題、食の問題、避妊など具体的な事例を挙げながら、科学の経済依存性について説明する。 授業方法: 一方的な講義にならないよう、また考える力、話す力を養うため講義では、多くの学生に発言を求めながら、展開する。 授業到達目標: 科学が相対的なものであることを理解できる。人前で自分の考えをきちんと伝える力を身につける。 環境問題と食の問題、男性学の関連について理解できる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 科学が発達したのになぜ地球規模で環境問題が発生したのか これ以上、科学が発達することで環境問題は、本当に解決するのか 環境問題など、具体的な課題を掲げながら、科学のあり方について様々な視点から議論する 第1回 科学者のイメージ 第2回 商品としての科学 第3回 なぜ山の上に木が生えているのか 第4回 循環の科学と循環を破壊する科学 第5回 科学が発達したのになぜ環境問題は大きくなったのか 第6回 // 第7回 環境問題、食の問題、女性学、男性学の関連について 第8回 経済学と科学 リカードを読む その1 第9回 経済学と科学 リカードを読む その2 第10回 経済学と科学 リカードを読む その3 第11回 なぜ中絶を繰り返すのか 科学と宗教 その1 第12回 // その2 第13回 報告 1 第14回 報告 2 第15回 報告 3			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「なぜ経済学は自然を無限ととらえたか」 中村修 日本経済評論社 (参考資料)		
成績評価の方法・基準等	レポート 50%、報告 40%、ノート 10% で評価する なお、レポートは、メールで提出すること。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			